

キャラクター名
夜川 岳斗（よかわ がくと）

・ プレイヤー名 _____

シンドローム	ハヌマーン	ワークス	大学生	カヴァー	大学生
	モルフェウス				
オプショナル		年齢	20歳	性別	男
覚醒	忘却	衝動	加虐	初期侵食率	32
出自	安定した家庭	経験	親友	邂逅	いいひと

	基本値	ワークス	ボーナス	成長	他修正	能力値	HP	26
肉体	2	0	0			2	行動値	8
感覚	3	0	0			3	(非装備時)	8
精神	1	1	0			2	戦闘移動	13
社会	2	0	0			2	全力移動	26

肉体			感覺			精神			社会		
技能	SL	修正	技能	SL	修正	技能	SL	修正	技能	SL	修正
白兵			射撃			R C			交渉		
回避	1		知覚			意志	1		調達		
運転：バイク	2		芸術：			知識： 法学	2		情報： 学問	1	
運転：			芸術：			知識：			情報：		
運転：			芸術：			知識：			情報：		
運転：			芸術：			知識：			情報：		
運転：			芸術：			知識：			情報：		

武器・コンボ	能力	命中値	G値	攻撃力	射程	メモ
武器	射撃	3r	0	Lv+4		ドッジ-1D
100↓	射撃	3r	0	5		ドッジ-1D、リアクション-5D。ガード不可・装甲無効
100↑	射撃	3r	0	12		ドッジ-1D、リアクション-6D。ガード不可・装甲無効
100↑+マシラ	射撃	-2r	0	52		〃

防具	価格	装甲	回避	行動	メモ

ロイス				
対象	感情(pos)	感情(neg)	タイプ	消
親：両親	P 幸福感	N 隔意		
親友：山原 遊星	P 友情	N 不安		
いいひと：PC3 (荀 辰久)	P 信頼	N 劣等感		
	P	N		
	P	N		
	P	N		
	P	N		

■セリフサンプル
「この眼鏡か？ いや、視力が悪いわけじゃない。……知らないのか。これを装備することで俺のINTは20%バフされている。つまり、めっちゃ頭がいい法律はこの国で一番力を持っている武器だ。俺はこれで誰かを助けたい。……？憲法……？法律が一番じゃないのか……？？？」

■概要
ごく一般的な男子大学生 2年生。法学部所属。
見た目は落ちていたクール寄り、喋り方も寡黙落ちていた雰囲気・イケボと、とても知的に見えるが、その実頭は足りてない。大学もギリギリで入った。山原遊星とは幼馴染であり親友。
基本的に秩序善（ヒーロー気質）で、困っている人がいたら見過ごせない。法学専攻なのもこの辺が理由。

■経歴・覚醒など
ごく一般家庭で育っているが、自分がとつづきづらい人間であることは何となく分かっていた。が、ずっと友達でいてくれる遊星に、ある種独占欲のようなものを感じている（※本人は無自觉。心の奥底で「ずっと彼女できなければいいのに」とか思ってる）彼との悪ノリはとても楽しい。
そんな高校生くらいの頃、遊星が事故に遭いかけ死にかける（車に轢かれてかかるとか）際に覚醒し窮地を助ける。が、その時の瞬間がトラウマ級に恐ろしい出来事だったが、その瞬間の出来事を記憶から抹消してしまう。

★この事故 자체はネガティブな経験だったため、遊星は記憶処理を受け、事故自体の記憶も周囲の人には残ってない。
この時にPC3に拾われて、UGNイリーガルとしてUGNでお手伝いするようになった。
なお、嘘をつければ性質なので遊星には「俺は……特別になってしまった……」とかボロッと言っちゃったんだけど、いつもの冗談だと勘違いされてマトモに聞いちゃうなかった。

■エフェクトコンセプト
某裁判官の「異議あり！」指さしの風圧が射撃武器です（）。ただし本人は弱いと思っており戦力外だと思っている。命中率は異様に高いが、本番に弱いタイプなのでここぞという時に外すことが10回に1回ある。（空気が上手くまとまらない=判定1Dの演出）